

2020年7月吉日

第64回日本学生科学賞北海道審査開催要項

読売新聞北海道支社
総務部事業担当

■研究内容とフォーマット■

2020年1月以降のデータを含む作品に限ります。継続研究の場合、前年までの研究と、新しく研究した部分を明確に分けてご記入ください。

物理、化学、生物、地学、広領域（前記4分野以外のテーマや、複数分野にわたる研究）など理科の学習に基づく実験、研究、調査などのレポート。情報・技術分野は中央審査のみ行います。申込は読売新聞東京本社次世代事業部「日本学生科学賞事務局」に直接お申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、審査方法やスケジュールが変更になる可能性があります。

■主催■ 読売新聞社

■共催■ 全日本科学教育振興委員会、国立研究開発法人科学技術振興機構

■後援■ 内閣府、文部科学省、環境省、特許庁、北海道、北海道教育委員会

■協賛■ 旭化成

■対象■ 道内の中学・高校の生徒。高等専門学校、定時制高校は3年生まで

■部門■ 中学、高校（高専、定時制を含む）の2部門

■応募時の注意事項■

- 1) 「高校生科学技術チャレンジ」(JSEC)は、日本学生科学賞とともに国際学生科学技術フェア(ISEF)と提携しているため、同じ研究作品を重複して応募することはできません。また、同じ学校から異なる作品を日本学生科学賞とJSECに応募した場合、同じ研究者が含まれている場合は二重応募とみなします。
- 2) 中学の部では「自然科学観察コンクール」同じ研究作品を重複して応募することはできません。
- 3) 「応募要項」の冊子についている「出品票」に漏れなく記載し、作品に添付してください。研究の点数は制限しません。(公式ホームページ <https://event.yomiuri.co.jp/jssa/>)
- 4) レポート類はホチキスで留めるかファイルにして提出ください。
- 5) 標本(液浸標本等含む)、装置、模型などの実物提出は受け付けません。
- 6) 道審査出品に伴う輸送に関わる費用および責任は、応募者が負ってください。
- 7) 道審査後、研究は返却いたします。返却費用は読売新聞社が負担します。
- 8) 中央審査出品に伴う輸送費用および責任は応募者が負ってください。

※このほか、細部の規定が「応募要項」冊子に記載されていますので、必ずご確認ください。

■応募期間■

2020年9月2日(水)～10月15日(木) (午後5時必着)

■応募先■

読売新聞北海道支社総務部「日本学生科学賞係」(〒060-8656、札幌市中央区北4西4)に送付のこと。持参も可(受付は平日10:00～17:00)。

■審査■

2020年10月下旬、北海道大学と北海道立教育研究所附属理科教育センターからの4人が審査します。審査の結果は、11～12月に読売新聞紙上で発表します。

■出賞と中央審査■

中学、高校(高専、定時制を含む)のそれぞれの部門に、下記の通り出賞します。受賞研究は、中央審査に出品することができます(別途、登録などが必要です)。

北海道知事賞(最優秀賞)1研究

北海道教育長賞(優秀賞)1研究

読売新聞社賞4研究まで

※各賞は該当研究なしの場合もあります。

※上位入賞研究には、11月をめぐりに読売新聞から指導教諭あてに取材のお願いをする予定です。その場合、指導教諭と生徒の談話、写真を紙面に掲載します。

※全ての入賞研究には、11月をめぐりに各学校あてに賞状と記念品を送付します。

■表彰式中止について■

第64回日本学生科学賞北海道審査の表彰式は、新型コロナウイルス感染対策として中止とします。

【問い合わせ先】 平日 10:00～17:00
読売新聞北海道支社総務部 川村圭一
TEL 011-242-5630
FAX 011-242-3153
メール kwmr3796@yomiuri.com